

ジョイフルファーム八幡平の 飼養管理について

農事組合法人 ジョイフルファーム
八幡平

場長 西村 幸広

岩手県九戸郡洋野町

令和7年4月20日

規模・概要

- ▶ ●設立 2016年4月 2018年7月種豚導入開始
- ▶ ●設立後8年
- ▶ ●規模 母豚 1,500頭 年間肉豚出荷40,000頭
- ▶ →現在母豚 1,420頭 年間肉豚出荷 39,000頭
- ▶ ●形態 繁殖・肥育一貫・ウィークリー管理
- ▶ ●職員 19名
- ▶ ●種付 自家取り精液 深部カテーテル
- ▶ ●肥育給餌のみ リキッドフィーディング (ビッグダッチマン)
- ▶ ●堆肥化 密閉型コンポスト8基
- ▶ ●排水処理 中空糸膜・逆浸透膜処理

職員構成

(令和6年12月末現在)

年代	人数
20代	2
30代	6
40代	8
50代	1
60代	2
合計	19

年代	人数
繁殖担当	4(女性1)
分娩担当	4
肥育担当	5(女性1)
環境事業部	4
場長	1
事務管理	1(女性1)
合計	19

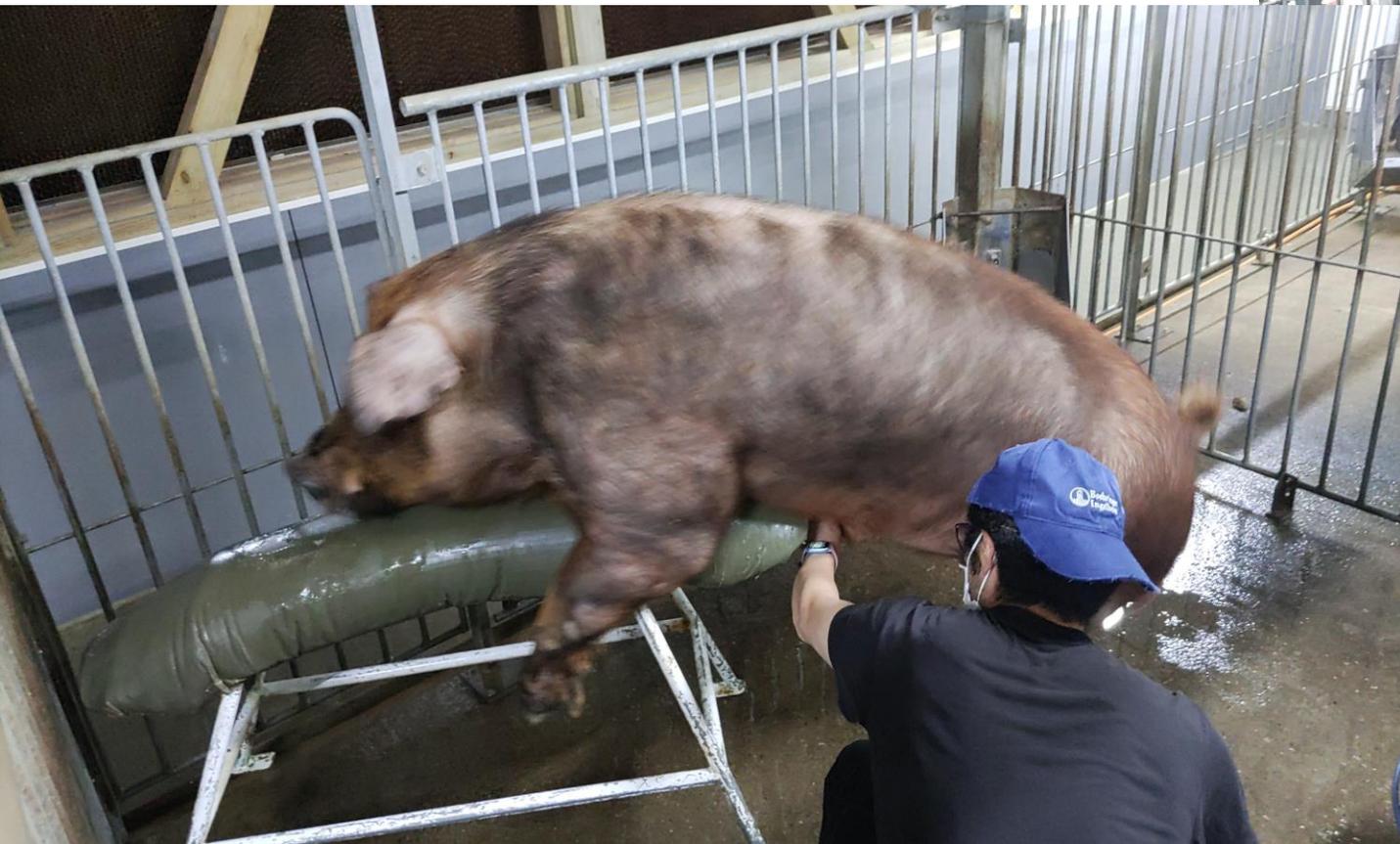
農場紹介

全景



発情確認は雌を雄豚房へ入れる

精液も雄豚房内で採取



離乳母豚のLED点灯によるメラトニンコントロール



- ・ 500ルクス以上
5時～21時16時間点灯

豚が抜けた所は消せるようになっている→



離乳風景

仔豚は自分の脚で移動



仔豚舎にて大きさをそろえる



体測は豚房内で行っている。

通路等で豚と糞便の交差を極力少なくしたい。



リキッドフィーディング (配合飼料のみ・エキスパンダー・ハレットクランブル)

自動給餌棟内



作成された餌



成績維持向上のため行っていること

- 基本に忠実な作業の徹底
- 現場の状況とデータの把握・分析、情報共有
- 多産系ハイブ° SPF豚の能力に合わせた管理

● 基本に忠実な作業の徹底



作業や器具薬品取り扱いの共通認識



生の情報周知

豚の背中にはキャンバス
豚と皆の為に遠慮なく書き込む



2024. 12. 26

もちろん豚だけでなく必要な書面で、見て分かるようにする

分娩力

♀No. **A4789** 産次 **3** 948
100

予定日 **12/12** 分娩日 /

所要日数 **4** ♂No.1 **AI88** ♂No.2 **AI** ホルモン **Q**

総頭数	死亡		哺乳開始頭数		体重	体温
	死産	事故	虚弱	健全		
					kg	°C

離乳

月日	頭数	体重	基礎注射 (処理時)	
			アン	スルレバ
		kg		

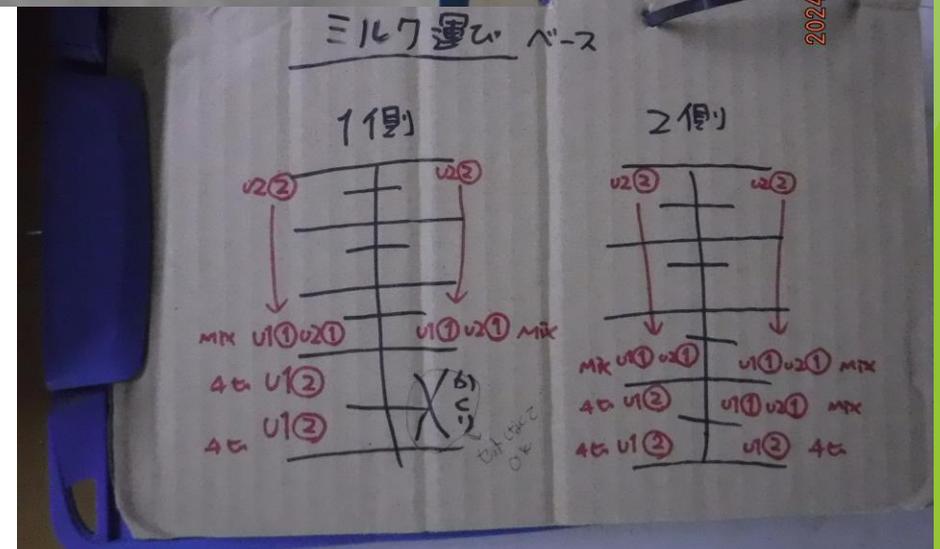
分娩前PG
① **12/16**
② /
③ /

**12/11 介助
アスルレバ**

寝方へタ事故 (注) **去**

頭数	頭数
26	25
25	25
25	25
25	25
25	25
25	25
26	25
26	25

2024.12.26



使った通路や道具は即、洗浄消毒



雑然としてきたことをわかりやすくする 為になるべくシンプルに努める



事務所は倉庫ではない 現場で使う部品や工具を置かない



●現場の状況とデータの把握・分析、情報共有



4/5 ~ 4/11	3/31	66	9	②	63	785	4/29	851	B2
4/12 ~ 4/18	4/7	74	10	③	71	853	5/6	824	B3
4/19 ~ 4/25	4/14	70	11	④	73	857	5/13	825	B4
4/26 ~ 5/2	4/21	74	12	⑤	71	905	5/20	828	A1
5/3 ~ 5/9	4/28	66	13	①	69	875	5/27	818	A2
5/10 ~ 5/16	5/5	74	14	②	72	823	6/3	829	A3
5/17 ~ 5/23	5/12	73	15	③	74	828	6/10	853	A4
5/24 ~ 5/30	5/19	72	16	④	73	935	6/17	895	B1
5/31 ~ 6/6	5/26	70	17	⑤	71	897	6/24	858	B2
6/7 ~ 6/13	6/2	72	18	①	69	852	7/1	846	B3
6/14 ~ 6/20	6/9	69	19	②	70	896	7/8	844	B4
6/21 ~ 6/27	6/16	67	20	③	66	808	7/15	825	A1
6/28 ~ 7/4	6/23	70	1	④	71	896	7/22	819	A2
7/5 ~ 7/11	6/30	66	2	⑤	67	834	7/29	829	A3
7/12 ~ 7/18	7/7	67	3	①	63	830	8/5	803	A4

●産子数

	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5
初産	14.06	13.39	13.35	13.21	13.16
2産目	14.54	14.01	13.63	14.02	13.57
3産目	15.75	15.18	15.03	14.77	14.28
4産目		15.77	15.50	14.76	14.44
5産目		15.74	15.89	14.58	13.93
6産目			15.92	14.62	13.95
7産目			15.42	15.10	12.15
8産目			15.09	15.89	
平均	14.27	14.70	14.58	14.28	13.86

●死産+事故

	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5
初産	1.65	1.54	1.42	1.48	1.35
2産目	1.92	1.43	1.51	1.43	1.43
3産目	2.90	1.94	2.05	1.88	1.49
4産目		2.55	2.59	1.99	1.73
5産目		2.76	2.99	2.40	1.75
6産目			3.27	2.60	2.15
7産目			3.37	2.97	2.04
8産目			3.18	4.89	
平均	1.82	1.95	2.11	1.88	1.57

直近4年の繁殖成績

	令和3年 2021	令和4年 2022	令和5年 2023	令和6年 2024
母豚数(期末)	1,501	1,434	1,434	1,419
分娩率(%) (PICS)	93.0	94.1	94.0	94.2
総産子数(頭/腹)	14.57	14.28	13.78	13.78
離乳頭数(頭/腹)	11.64	12.39	11.59	11.40
死産率(%)	14.5	13.2	10.3	12.2
離乳率(%)	93.1	94.6	94.8	94.3
生時体重(kg/頭)	1.38	1.40	1.43	1.47

直近4年の肥育成績

	令和3年 2021	令和4年 2022	令和5年 2023	令和6年 2024
1母豚出荷頭数(頭/母豚)	28.41	28.53	28.96	27.82
年間出荷頭数(頭/年)	42,043	41,870	40,630	39,554
出荷重量(kg/頭)	113.7	113.5	114.8	116.0
枝肉重量(kg/頭)	74.3	74.2	75.1	76.1
出荷日齢(日)	155.6	154.3	156.3	156.8
生後増体DG(g/日)	731	735	734	740
上物率(%)	70.5	71.0	72.4	70.0
背脂肪(cm)	1.88	1.84	1.84	1.78
離乳後事故率(%)	2.13	2.21	2.21	2.92
農場飼料要求率FC	2.95	2.97	3.00	2.97

八幡平ホークグループ内での情報共有

- ▶ 毎月末、グループ全農場が棚卸を行い、成績や在庫数をまとめる。
- ▶ これを各農場ごと1枚の様式にまとめ、グループ全農場にて閲覧可能にしている。
- ▶ 同規模である岩手3農場は、上記のデータを細分化したものをを用いて、各部門長以上の会議を毎月開催している。これは、その時のテーマ・問題点により、農場ごとであったり合同であったりと形を合わせて開催している。

生産現場の負荷の軽減

- ▶ これまで農場として年40,000頭の出荷が第一目標だったが、令和5年の枝肉取引規格の変更により出荷体重を上げる必要に迫られた。
- ▶ そこで起こる事態を想定し、出荷頭数を39,000頭へ制限して代わりに40,000頭出荷時と変わらない枝肉重量（3,000,000kg）を確保する形へ舵を切った。
- ▶ これにより水・餌・豚・設備、特に糞尿処理のトラブル、そして人への負荷が格段に減少した。

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
年間出荷頭数	42,043	41,870	40,630	39,554
出荷重量	4,781,210kg	4,751,635kg	4,664,770kg	4,588,830kg
枝肉重量	3,122,677kg	3,105,107kg	3,050,517kg	3,005,758.5kg
日齢	155.6	154.3	156.3	156.8

生産現場の負荷の軽減②

- ▶ 3農場目のスタートに携わり、重きを置いて考え心がけたことは、最高最大の成績を更新し続けるよりも、余力を残しながら進むこと。
- ▶ 人の消耗・設備の消耗・豚の消耗を経験してきて、余力を残すこと、壊れてしまう前に一定の期間や数値で交換・整備の必要性、基本的に修理修繕は自分達でやるのは当たり前としての、修理の委託や、もったいないと思いき過ぎない気持ちづくり
- ▶ 当農場職員は少数精鋭だと思っている。では、その最大の敵は何かというと「多数」。作業の数、修理修繕の数、把握すべき事象の量、等々。職員数を揃えてあげなければならぬのは当然として、これらに職員が疲弊しないように、できるだけ豚屋として豚に集中できる環境を整えられるよう努めている。

● 多産系ハイブ° SPF豚の能力に合わせた管理



多産系ハイコープSPF豚への対応

- ①発情再帰が早い
- ②適正な淘汰産歴
- ③初産成績の把握
- ④早期廃用を避ける給餌量

①発情再帰日数が早い。離乳後4日目交配70%以上

- ▶ 4日目についてはそのうちの4割程が3日目の午後に発情確認が取れる。主に若産次豚
- ▶ しかし、産次を重ねるにつれて自然と4, 5日目になってくる傾向

離乳後	令和3	令和4	令和5	令和6
4日目(%)	55	60	71	76
5日目(%)	34	28	16	16
6日目~(%)	11	12	13	8

②淘汰の産歴。5～6産

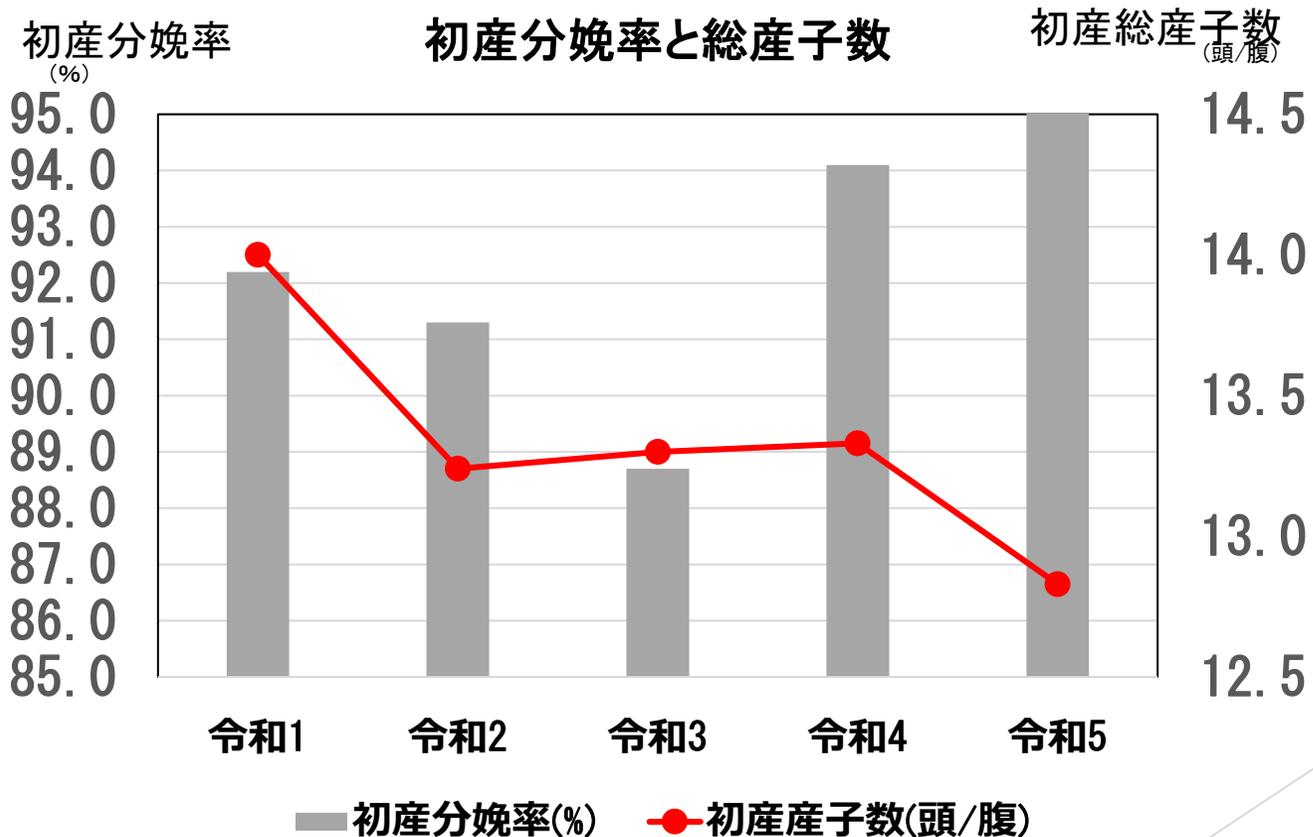
▶常在菌等、農場が落ち着くよう、産次が若返りすぎないように気を付けている

●淘汰母豚頭数

	令和3	令和4	令和5	令和6
育成	14	11	7	5
初産	36	28	21	29
2産目	38	43	38	42
3産目	45	43	30	21
4産目	85	63	46	65
5産目	122	137	92	122
6産目	229	184	184	156
7産目	161	191	325	176
8産目	57	89	38	43
9産目	8	12		2

③初産成績の把握。 分娩率と産子数

	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5
初産分娩率(%)	92.2	91.3	88.7	94.1	95.1
初産産子数(頭/腹)	14.0	13.2	13.3	13.3	12.8
初回種付日齢(日)	246(8.2)	249(8.3)	263(8.7)	248(8.2)	247(8.2)



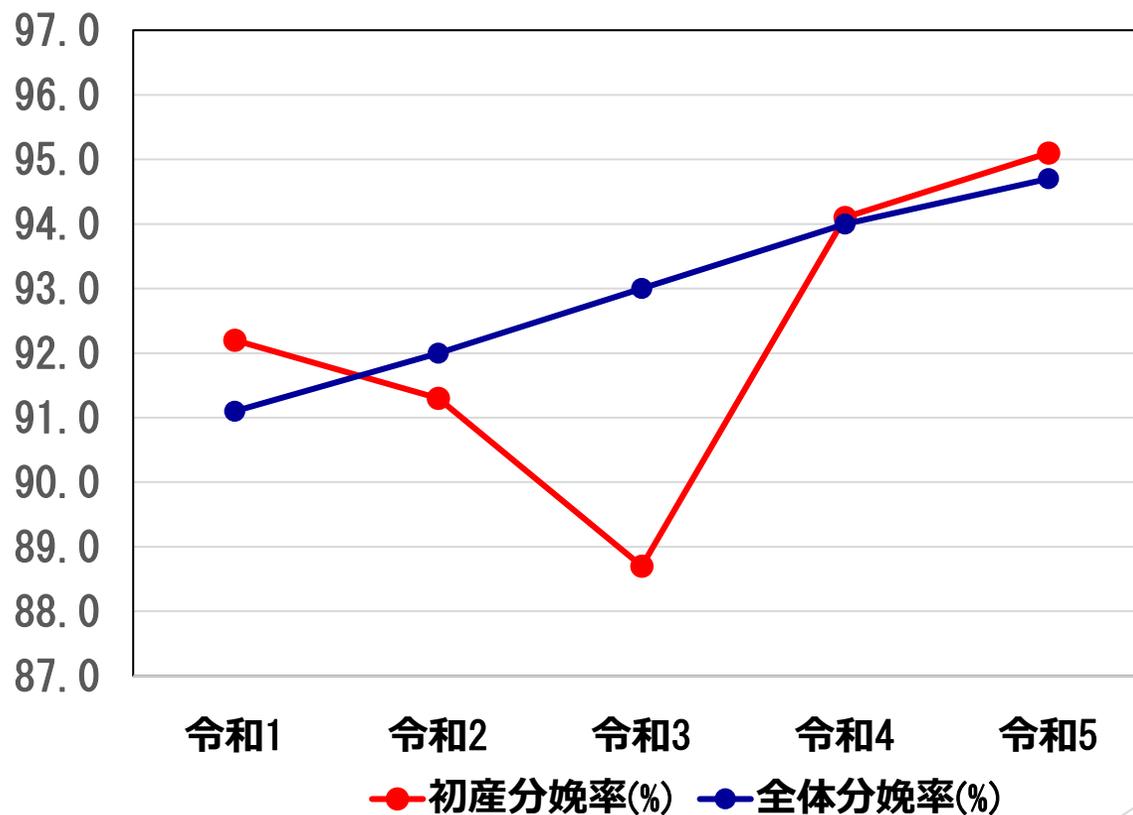
③初産成績の把握

全母豚の分娩率と初産の分娩率

	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5
初産分娩率(%)	92.2	91.3	88.7	94.1	95.1
全体分娩率(%)	91.1	92.0	93.0	94.0	94.7

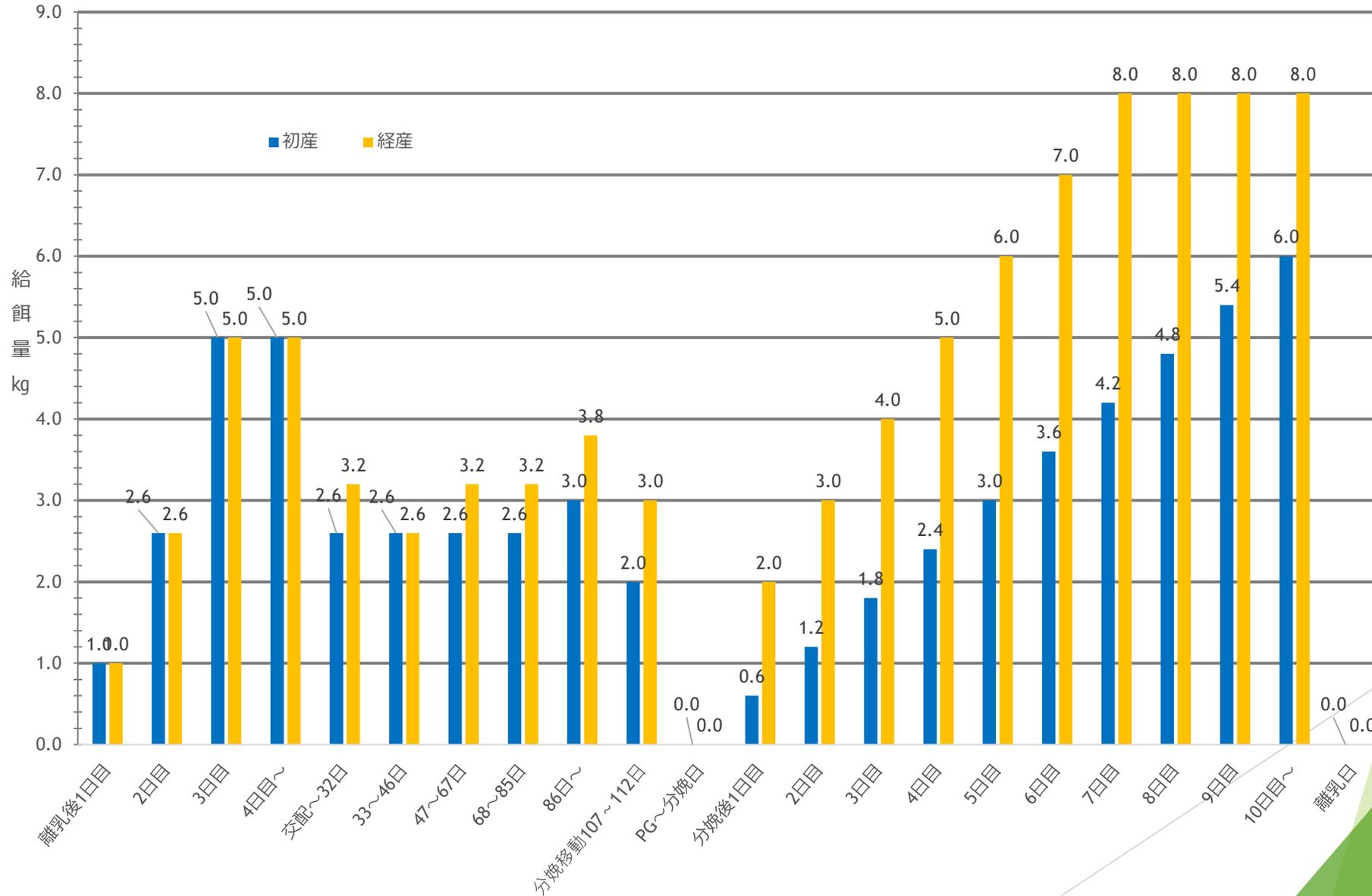
分娩率
(%)

初産・全体 分娩率



④ 早期廃用を避ける給餌量

繁殖豚の給餌体系



	TDN	繊維 (Fib)
育成舎飼料	69.0	9.0
交配妊娠舎飼料	70.0	8.0
分娩舎飼料	77.0	3.8

八幡平パークグループ C S F 対策

- 飲用水の塩素消毒徹底
- ミルク搬入庫の防疫強化
- 踏込消毒の消石灰+逆性石鹼利用

子豚舎でのドサトロンによる塩素添加 特に子豚舎供給飲水の消毒強化 1.0~1.5mg/L



子豚舎隣接ミルク庫の防疫強化

- ▶ 必ず週2回は燻蒸消毒（ミルク袋搬入時含む）
- ▶ ミルク庫内とトラック荷台は専用履物にする。
- ▶ 搬入業者は搬入前に専用シートをミルク庫床に敷き、その上を歩くようにする。シートは搬入作業終了後廃棄。
- ▶ 農場職員と搬入業者は現場では接点を持たない。



踏込消毒 逆性石鹼→消石灰（強アルカリ）
長靴の溝を石灰で埋める



屋外→屋内→屋内の履物交換

敷地内専用外長靴

サンダル

農場内履き長靴

絶対に外の土を入れないという意思



ご清聴ありがとうございました

